一馬さんが案内してくれた絶景スポットからの眺望。 気候条件が重なれば雲海も見えるとのこと



真っ直ぐ伸びる杉に囲まれると方向感覚を失いそうになる

世界遺産を擁する「秘境」

山やを見度しながら、「どうですか?」と を、大地を踏みしめるたび、前日の雨を を、大地を踏みしめるたび、前日の雨を 多く含んだ腐葉土の匂いが立ち上る。奈 良県の南西部に位置する吉野郡野迫川村。 良県の南西部に位置する吉野郡野迫川村。 産である熊野参詣道小辺路が通る同地域 産である熊野参詣道小辺路が通る同地域 は、まさに「秘境」と呼ぶにふさわしい。 「奈良県の県境である山々の稜線が見える、絶好のスポットがあるんですよ」。そ る、絶好のスポットがあるんですよ」。そ う言って案内してくれたのは、同村で林 業を営む有限会社津田林業の、津田一 馬さん。眼前に広がる深い緑に覆われた

希さんと圭太さんの兄弟だ。公私ともに理仁さんと、津田林業の社員である南祐上げてきた奈良県森林組合連合会の中井若き「フォレストワーカー」を多数育て同行するのは、長らく林業に関わり、微笑む。紛うことなき絶景だ。

> 野迫川村にUターン。目指すのは森を が出もあって、家業に対しては良いイ い出もあって、家業に対しては良いイ が出もあって、家業に対しては良いイ が出もあって、家業に対しては良いイ が出もあって、家業に対しては良いイ が出もあって、家業に対しては良いイ が出るがでの一様でしたね」。地元

代るだけではなく、新たに木を育てる取野迫川村にUターン。目指すのは森を等り、育む林業だ。「祖父が植え、父が育て、私が伐る。林守り、育む林業だ。

メージを刷新

「怪我をしない、させないは、山の仕事事は、安心安全が第一だと強調する。繰り返し伝えていた一馬さん。林業の仕繰り返し伝えていた一馬さん。林業の仕

の鉄則です。無理をすると必ず怪我をしてしまう。特に、間伐は一人で行うのでている状態で、隣に人がいるのに木を切ってしまえば大事故につなります。もう少し切りたいと思っても、自分の体力や少し切りたいと思っても、自分の体力のの大事な仕事です」

(右ページ) 山間の絶景を望む4人。奥から南祐希さん、中井理仁さん、津田一馬さん、南圭太さん





兵庫県加古川市から移住した兄の祐希さん(上)と圭太さん(下)

集に応募し就職した圭太さんは、

と思っていた圭太さんは、

今に至る。

もともと兄のように林業に携わり

林組合連合会の中井さんだ。

になったんです。ていた自分が、空 た会社」なのだと気づいたそうだ。 だ津田林業は「野迫川村で山を守ってき 日々経営に必要な知識や林業技術を学び 時は不安に押しつぶされそうでした」。 いた自分が、 の人に支えられる中で、 突然会社を経営す 自分で務まるのか、 自分が継い る立場 当

都会の何十万分の一と比べると、 社が社員を一人採用して村に移住するこ 三百二十四人。 とになれば、それが三百分の一 「会社として地域で果たすべき役割があ 人口は、二〇二五年四月一日時点で たとえば人口減少の問題。 人口が少ない村です。 離島を除く全国自治体の 野迫川村 うちの会 になる。

ろか

知れません」

ために メージを変えていきたいと話す。 馬さんは林業への就業者を増や ક 「3K(キツい、汚い、 危険)」

じゃなくて、こだわったイケてるデザイ 泥だらけになるんだから何でもい 「たとえば制服一つにしても、 っこい さな積み重ねですけど、 のものを使う。 ら変わっていけ いなと思ってもらいたいんです 若い人たちに林業って たらと思っていま そう したとこ 『どうせ いや

か ン

さんの父から「次が決まっていないなら

故郷を離れ、兄弟で野迫川村へ

津田林業の社員の多く の

希さんがこの地を訪れた。

に就職した若い社員たち。

最初に兄の祐

の兵庫県加古川市から移住し、

南祐希さんと圭太さんの兄弟は、

地元

たのは、 関わって 野迫川村を含めた近隣エリアで働いてい る前はキャ いて、 地域の催事で出会った先代である一馬 伝いをしたりと、 動物の世話をし いたんです。 と動植物が大好きで、 ンプ場の仕事をしていました。 うど転職を考えていた時期 当時からこの地域に 津田林業と出会っ たり、 ここに来 林業のお

川村で暮ら ちにおいでよ」 と声を ٤ かけられたとい

间岸田从坐

気持ちがあったわけではないんです。 れに身を任せた結果こうなりまし にも積極的に参加している。 には使命感をもって取り組み、 そう笑いながら話す祐希さんだが、 うような強い 地域行 仕 流

津田林業の制服は一人ひとりデザインが異なる。 上が祐希さん用、下が圭太さん用

うに活躍できるかを考えながら楽し れが心地良い。 人たちの存在が大きいです。 って色々期待してくれているし 村の一員としてどのよ 若 んで

そんな兄を頼って移住 したのが弟の圭

高校生になってからは村の近くの な姿がカッ と違ってとて ら、ちょくちょく来るようになりました「中学生の夏に野迫川村に遊びに来てか その後、 愛がってもらい 野迫川村役場の臨時職員の募 コよくて憧れて も社交的で、 地域の方たちにとても ました。 津田林業のお仕事を 大人で、 兄ちゃんは僕 いたんです」 ホテル そん



右 一馬さんの祖父が建てた作業場は秘密基地のような遊び心ある空間。机には灰皿のほかチンチロが。普段からここで憩う様子がうかがえる 左 作業場は子どもたちの遊び場にもなっているそう。「僕も昔はよく作業場で遊んでいました」と一馬さん



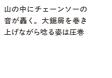
津田林業はしいたけの栽培も手掛ける

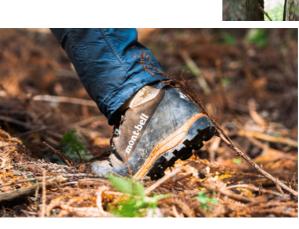


樹木の状態を確認する一馬さん。植えてから 伐採するのに、およそ半世紀はかかるという

拓く仕事を

森の可能性を





山に入って作業をする際は安全第一。 ヘルメットはもちろん、作業靴は足場 の悪い場所で作業する際の心強い味方

「気をつけてい

物を分けてく 子どもだ」 ったそうだ。 と地域全体で面倒を見てもら

お酒の席に誘って

支援講習の講師をしてほしい」と言われき、中井さんからは「そろそろ林業就業 るまでに成長した。

仕事を全て担います。できるだけ高品質 伐採まで、 な状態で木を出荷できるように、 り組んでいますね」 およそ林業と呼ばれる一連の 日々取

中でもやりがいを感じるのは「道づく

「山を整備するのに職人さんが入れるよ

子どもが生まれてからは「この子は村の 警戒を解いたのだろうか。収穫した農作 ですね」と茶目っ気のある笑顔で応えた プライ らったりといった機会も増えていった。 地域の人々と良好な関係を築き、 その秘訣を聞くと、 そして地域文化を受け入れること 人懐っこい人柄に、村の人たちも 自分の我を通しすぎないこと いれたり、 も充実させてきた祐希さ

一方、仕事では場数を踏んで技術を磨

「津田林業では、 木を植えるところから

り」だという。

我せずに安全に仕事が終えられときが一 す。その道が崩れることなく、 重機を入れて道をつくっていくんで 誰一人怪

壊れずに残っていたら感動もひとしおで番気持ちいいですね。数年経っても道が

仲の良い四人の縁はここから始まった。

仕事も暮らしも人間らしく

チェーンソーを担いで森に入っていく南兄弟

がいい」と話す。 弟の圭太さんは「身体を鍛えられるの

ていて。 物として大事なものを失うような気が 「デスクワークばかりをしていると、 とても充実感を覚えます」 どんどん健康になっていくところ 人間としての野性を取り戻しな L

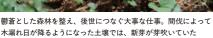
いを語ってくれた。 今はがむ、 しゃらに働きたいと、 熱い思



困難な状況でも、 希望は失わない

所有者が不明だったり、放置されていた二○%に過ぎない。八割近くは民有林で、が仕事で扱える国有林はそのうちの約にあるように思える。しかし、津田林業 の割合)は約七五%で、 奈良県における森林率(県土に占める森林 けでなく、 一馬さんは仕事のやり方やスタイルだ 収益構造の見直しも進める。 森林資源は豊富





するのが現状だ。

を活用した整備について訴えかけるなど は役場と連携し、民有林の所有者を特定 の取り組みも進めてきました」 そうした山々の整備に取り組もうとして したり、所有者に対して補助金や助成金 いますが、まだまだ道半ばです。 「国や自治体は補助金や助成金を出し、 私たち

益を望めるのが利点だ。 模な作業が多い。 だまだ活か な収益構造を持つ。 ら請け負う形で実施され 「野迫川村の森林の多くは民有林で、 国有林を対象とした林業は、 も収益は変わらない。民有林を扱う林 販路などの工夫次第では大きな収 そのため安定的で盤石 半面、どれだけ伐っ 計画的で大規 林野庁か ま

材に価格競争で太刀打ちできていないの が実情。さらに、国内の木材需要が低下 国内の木材は、外国からの安価な輸入木 のが本音です」 しかし、 、地元で育った木を活かしていきたいさんある。村で林業を営む会社としてまだ活かしきれていない森林資源がた 次は市場競争という壁が立ち塞がる 仮に民有林を開拓できたとし

付加価値の市場が存在します。 特に構造材(柱・梁)や内装材 目板)においては、 れるものは高価格で取引がされています 「木材の中でも、 ランド木材が好まれ、 住宅建材として使用さ 吉野スギをはじめと う。 高品質・高 (床板、羽

していることも追い打ちをかけている。

が低下しています」 本の新築住宅着工は一九九○年代のピ から右肩下がり。全体的に木材の需要

は「希望」を語る。 そうした状況下だからこそ、 一馬さん

に林業の希望がある」 できることがどんどん増えていく。 力や専門性のある仲間が増えさえすれば 化までを一体化し、全てを地域内で完結 のでできることは限られていますが、 いる地域もあります。 することで、 「全国には、 自立型の経済圏を構築して 上流の伐採から下流の製品 今は人手が少ない そこ

若きフォレストワー カー を輩出

高齢化、 のが 全国各地の林業の最前線へ送り出してき だ。 を務めるのは吉野センター長の中井さん は、 いる。 め、 若きフォレストワー 津田林業に就職した圭太さんをはじ 奈良県森林組合連合会が担う。 追川村を含む奈良県南部に限らず、
 各地の山では、 「林業就業支援講習」だ。奈良県で そんな中、期待を寄せられてい 若い担い手不足が課題となって 林業に携わる人材 カーを育成し、 講師 る

中でも、 す が集まり、 大盛況でした。 「これまでに多くの若い林業就業希望者 ップレベルの参加数を誇り 毎回募集定員を上回る勢いで レベルの参加数を誇りま奈良県の講習は、全国の

林業就業支援講習の様子

基礎知識の講習



林業の動向、山村の現状と 活性化、木材需給や木材価 格など、森林・林業を取り 巻く状況について講義で 学びます。

実地講習



「林業の基礎知識」「安全 衛生講習 |で学んだ知識を 実際に現場で実践。刈払機 及びチェーンソーの現場 での操作や、苗木の植え 付け、下刈り、除伐、枝打ち、 間伐等の作業を実際に体験 できる貴重な機会です。 講師の指導のもと安全に 行います。

安全衛生講習



労働災害の現状や、林業に おける健康管理のほか、 救命講習も受講します。 資格講習では、林業に必要 な「刈払機取扱作業者に 対する安全衛生教育」「伐木 等の業務にかかる特別 教育」などの資格を取得 できます。

施設見学



木材市場や製材工場など、 林業・木材施設等の見学を 行います。山の木がどの ように販売され、製品に なり流通しているのか、 ご自身の目で見られる貴重 な機会です。

- 1 この講習は、必ずしも就職を保証するものではありません。
- 2 現場の安全確保の観点から選考を行う場合があります。 詳細は、講習実施機関にご相談ください。
- 3 食費や講習実施地域までの交通費等受講に関連して生じる経費は、自己負担となります。 宿泊費は途中辞退された方には支給されません。
- 4 各コースの講習日数は、都道府県により異なります

就業相談



各地域の林業就業窓口担当 者との就職相談を行うこと ができます。また、現役林業 ワーカーの体験談を聞く 機会もあります。

受講生の声

参加のきっかけは 林業就業相談会



環境問題に興味があり、林業就業相談会に参加 し、この講習を知り申し込みました。講習では チェーンソーの使い方や刈払機の資格について 学び、講師の方々は本当に丁寧に教えてくださ り、受ける側も楽しいです。自然の中で仕事をす ることは心地良く、やりがいを感じます。 地球の環境に貢献ができる素晴らしい仕事と 感じました。

自分に合った働き方



体は丈夫な方なので、外の仕事をしてみたいと 思い、林業の就労相談の方に相談しました。 その際に資格があれば良いとアドバイスを 受け、このコースの存在を知り、参加することに しました。頭を使いながら体を動かす仕事が 自分に合っていて、出来ないことが出来るよう になることにやりがいを感じます。伐倒で 思った方向に切れるように頑張りたいです。

、自衛隊の経験を生かして /



陸上自衛隊の災害派遣で風倒木の撤去を行った 際に、山の整備の必要性を強く感じました。 自衛隊を退職したタイミングで林業を試して みたいと思い、今回参加しました。講習では 基礎的な知識と技術を教えていただき、実際 に伐倒も経験できました。ここまで手厚く サポートしていただけるとは思っていません でしたので、参加してよかったです。

林業に就業するまでの道のり

林業に関するボランティア活動



各都道府県の

林業労働力確保支援センター等が実施する 林業就業支援講習(厚労省)など

就職活動

ハローワーク

支援センター

林業労働力確保

森林組合、 林業経営体 などに就業

林業の技術・技能を 習得するための 実務を就業先で研修 「緑の雇用 | 事業 (林野庁)

「緑の雇用 |事業

地域に定着 林業に従事

林業就業支援講習(厚生労働省委託事業)

全国森林組合連合会では、林業への就職を希望する方を対象に、全国各地で林業就業支 援講習を随時開催しています。受講期間の異なる3つのコースがあり、講義、体験、資 格講習、施設見学を通じて林業の基礎を学ぶことができます。受講は無料です。コース によっては、一泊あたり上限 4,400 円 (税込) の宿泊費補助もあります。

短い期間で充実の林業体験

実践コース

実地講習+資格取得

就業前に資格が取得できる

- ✓ 宿泊費の補助あり
- ▼ 業務で使える資格の取得

チェーンソーや刈払機などの資格が 取得できます。

体験コース

資格の取得はなし。

作業体験+現場見学

- ▼ 宿泊費の補助あり
- ▼ 林業作業体験
- ✓ 施設見学
- ✓ 就業相談

宿泊費補助

- 講習修了者には、受講中の宿泊費について一泊あたり4,400円(消費税込み)を 上限に補助します。
- 補助となる日数は講習日数を限度とします。

受講料

理解が深まる林業就業相談会

日コース

講義+就業相談

- ✓ 林業の現状や仕事内容の説明
- ✓ 就業相談
- ✓ 生活相談

まずは林業への入り口から知りたい 方も気軽に参加ください。

講習内容

実践コース

林業の基礎知識

●林業の動向 ●山村の現状と活性化 ●木材需給や木材価格

安全衛生講習

- ●労働災害の現状と対策 ●林業における健康管理
- ●チームワークとコミュニケーションの重要性 ●普通救命講習

- ●刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育 ●伐木等の業務にかかる特別教育 ●小型車両系建設機械の運転の業務にかかる特別教育(3t 未満)※
- ※小型車両系建設機械の資格講習は、実施しない場合もあります。

実地講習

- ●「林業の基礎知識 | 「安全衛生講習 | で学んだ知識の現場での活用
- ●刈払機及びチェーンソーの現場での操作
- ●植え付け、下刈り、除伐、枝打ち、間伐等の各種林内作業の実施

林業関係施設等見学 ●林業・木材施設等の見学

就業・生活相談

●林業への就職相談や現場作業者への生活相談等

体験コース

林業の基礎知識

- ●林業の動向
- ●山村の現状と活性化
- ●木材需給や木材価格

安全衛生講習

- ●労働災害の現状と対策
- ●林業における健康管理
- **●**チームワークと コミュニケーションの重要性

実地講習

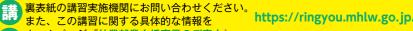
- ●ノコギリでの枝打ち、丸太切り体験
- ●高性能林業機械等の見学
- ●その他各種林内作業の見学

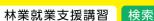
林業関係施設等見学

●林業・木材施設等の見学

就業・生活相談

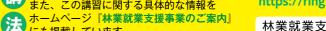
●林業への就職相談や現場作業者 への生活相談等











こも掲載しています。